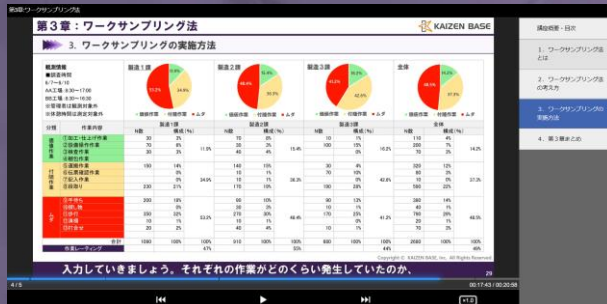


稼働分析の考え方と活用法

本講座の狙い

普段の現場の稼働状態を数値で可視化することは、実態を知ることに加え、自職場がどのくらいのレベルかを知ることにも繋がります。本講座では、連続観測法、セルフタイムスタディー法、ワークサンプリング法の使い方と、観測した結果を使った改善の方向性について学んでいきます。



※eラーニング学習画面のイメージ

受講対象者 ✓ 生産部門、間接部門全般（中堅／管理職）

- ✓ 動画再生時間：約65分
- ✓ 想定学習時間：約2時間3分
- ✓ 教材の構成：動画コンテンツ 4ヶ、理解度確認テスト 各章5問、総合テスト 全20問

カリキュラム構成

第1章：稼働分析の概要（16:19）

1. 稼働分析とは
2. 人の作業の3分類とは
3. 機械の仕事の分類
4. 稼働分析の種類と特徴
5. 第1章まとめ

第3章：ワークサンプリング法（20:58）

1. ワークサンプリング法とは
2. ワークサンプリング法の考え方
3. ワークサンプリングの実施方法
4. 第3章まとめ

第2章：連続観測法とセルフタイムスタディー法（17:31）

1. 連続観測法とは
2. 連続観測法の手順
3. セルフタイムスタディー法とは
4. セルフタイムスタディー法の進め方
5. 第2章まとめ

第4章：観測結果の分析と改善の仕方（10:18）

1. 観測結果データのまとめ方
2. 観測結果に対する改善の方向性
3. 人の稼働を改善する視点
4. 機械の稼働を改善する視点
5. 第4章まとめ



※（ ）内の数字は動画の再生時間です。
 ※ 理解度確認テストは各章毎に設定されており、最後の総合テストでは全章の中からランダムに出題されます。

講座の学習方法

- 法人会員サービス
- 個別コンテンツ学習
- 企業内研修



お申し込みはWEBサイトから！
 下記URLにアクセス！

<https://www.kaizen-base.com/plus/>



カイゼンベース株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目3-1

導入実績多数！料金お得な法人会員サービスがオススメ

お問合せはこちら

info@kaizen-base.com
 TEL: 03-6368-5620 FAX: 03-4586-7148